

# 高齢 知症を知る



医療法人社団裕和会  
長尾クリニック 院長  
**長尾 和宏 先生**

●職歴  
1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局  
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長  
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



## 第25回 抗認知症薬の副作用

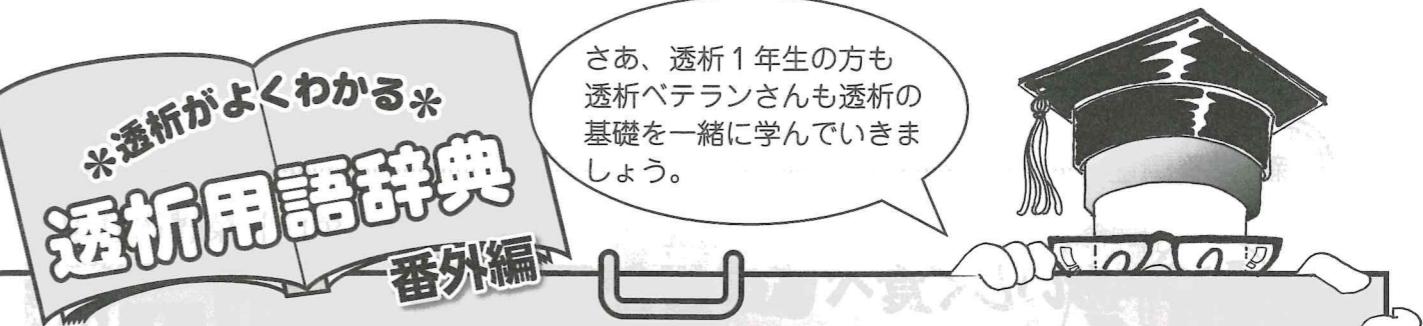
医者に「認知症」と診断されたら誰もが薬を希望されます。認知症を改善する薬を求める患者さんが毎日来られます。現在、日本で保険適応になっている抗認知症薬は4種類あります。ドネペジル（商品名アリセプト）、ガランタミン（レミニール）、リバスチグミン（リバスタッチパッチ、イクセロンパッチ）、メマンチン（メマリー）。これらは、認知症の進行を抑制するということで保険適応になっています。しかし副作用について知っておく必要があります。

まずは、抗認知症薬の增量規定です。かつては、最少量から開始したら最高量まで段階的に「必ず增量」しないといけない、という不思議な增量規定がありました。しかし增量するに従い易怒性、歩行障害、食欲低下、徐脈などの副作用が現れることがあります。筆者は「一般社団法人・抗認知症薬の適量処方を実現する会」を結成し、抗認知症薬でかえって調子が悪くなった人の声を集めて国会に届けました。厚生労働委員会で議論された結果、「增量規定」は撤廃され、降圧剤や血糖降下剤と同じように医師の裁量で適宜増減していくという通達が出ました。しかしまだにその通達を知らない医師がいます。怒り出す=薬が効いていない、と判断し、薬を減らすか中止すべきところを反対に增量される人がいます。すると薬で調子が悪くなります。

人によっては適量の抗認知症薬で認知機能の低下がある一定期間抑えられます。しかし常に副作用に注意が必要です。デメリットとメリットのバランスを考慮すべきです。認知症=抗認知症薬では決してありません。そもそも4つの抗認知症薬はアルツハイマー型認知症が適応病名です。ただしドネペジルだけはレビー小体型認知症にも投与できますが、他の3剤は適応ありません。また前頭側頭型認知症（ピック病）にも適応がなく有害です。フランスでは4剤が保険適応から外れるなど、海外では使われない方向にあります。抗認知症薬への過度な期待は禁物です。

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは？」 「認知症なのでは？」  
「認知症ってなに？」と“認知症”に対しての不安はだれもが持っていると思います。  
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



## 透析患者の新型コロナウイルス感染症 – 5

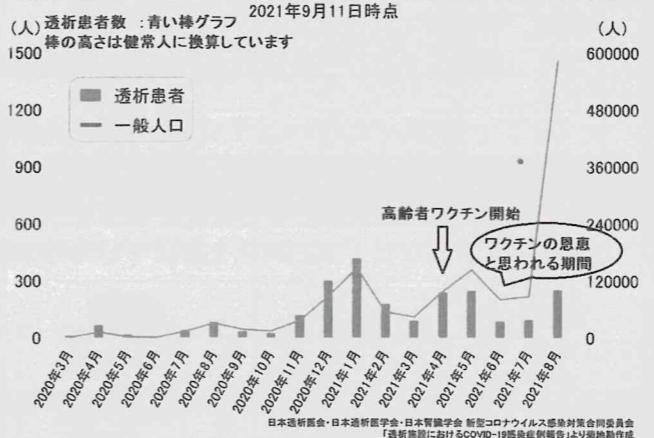
### Q. 透析患者にコロナワクチンは効きますか？

維持血液透析患者にファイザー製コロナワクチン接種後に透析群の96%が抗体反応を示しました。

ワクチンを接種して抗体を作りコロナワクチンから身を守るのがワクチンの目的ですからほぼ、全員に抗体ができることが分かったのは非常に喜ばしいことです。しかしながら、抗体の量は健常人に比べて明らかに低く、健常人の約1/3-1/2の量でした。高齢者ではさらに少ないという報告があります。

ではワクチンは透析患者さんには意味がなかったのでしょうか？

#### 透析患者と一般人口における月ごと新規感染者数の推移



左の図では折れ線グラフは健常人の感染者数の数、棒グラフが透析患者の数で、健常人の400人に1人が透析患者として換算しています。2021年4月以前は感染者数は健常人も透析患者さんもほぼ同じです。矢印の高齢者ワクチン開始以後透析患者さんの感染数は減少します。これこそがワクチンの効果なのです。

### 次に死亡率に及ぼす影響を見てみましょう。

新型コロナウイルスに感染した札幌市内の人工透析患者について、4~6月は5割強が命を落としたが、5月末からワクチンを優先接種した結果、8月16日までの2カ月間で死者はゼロとなったとニュース報道がありました。

確かに抗体の量は健常人に比較して少ないのですが、このようにワクチンは感染者数も死亡者数も減らしてくれました。

日本透析医会、日本透析医学会、日本腎臓学会の報告をまとめてみても以下の図のように確かにワクチンは一定の効果を示してくれました。

	死亡率
ワクチン接種前の透析患者	15.5%
ワクチン接種後の透析患者	4.9%

### Q. 3回目の接種どうしたらいいですか？

2回目を接種してから半年くらいしてから打つのがいいと、透析医会、透析医学会、腎臓学会の合同委員会は考えているようで、推進していくようです。ですので3回目は機会があれば打つ方がいいと思います。

また、抗体のできにくい方には外から抗体を入れてコロナを予防するという新しい抗体療法も考えられているようです。

監修：山本クリニック院長 山本貴敏先生

HNL

1989年9月11日 第三種郵便物承認(毎月5回 1日・10日・15日・20日・25日発行)  
2022年1月30日 HNL増刊通巻第2353号

No.155

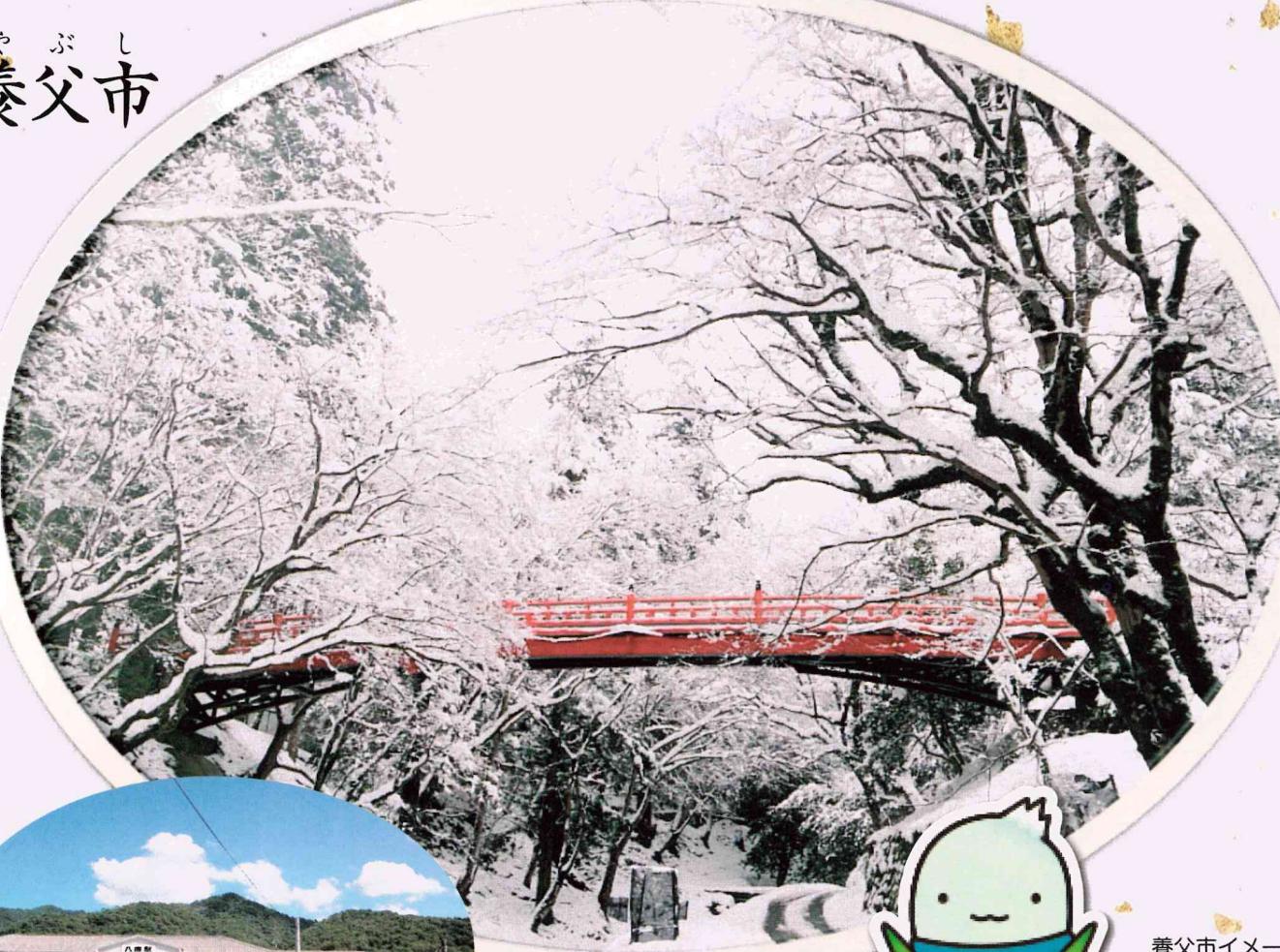
2022.1.30  
Winter

壬寅  
みずのえどら

やぶし  
養父市

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

# きぼう



最寄り駅 JR八鹿駅

冬の養父神社

©養父市観光協会



養父市イメージ  
キャラクター

森の妖精

やつぶ~

本年もどうぞよろしく  
お願ひいたします。

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840  
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●[npohyojin@nifty.com](mailto:npohyojin@nifty.com)

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| ■阪神ブロック事務局 〒663-8215 西宮市今津水波町1-7 ドミトリー高木1F     | TEL.0798 (36) 9731 FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7370 FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7323 FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 〒672-8048 姫路市飾磨区三宅1-192 田中興産ビル6F    | TEL.079 (285) 0577 FAX.079 (287) 6038 |